

# 客観的に見た日本語

## ～外国人が感じる日本語の難しさ～

### Summary

背景（設定理由）：私達が普段当たり前を使う日本語は特有なものであり、将来、仕事に就く上で日本語は自分達にとって必要不可欠なものである。

目的：日本語を客観的に分析した上で自分達の生活の中で活かす。  
日本語を学ぶ海外の方に日本語をわかりやすく伝える。

SDGsとの関連：「質の高い教育をみんなに」  
「パートナーシップで目標を達成しよう」



**Plan**：外国語と比較して客観的に日本語を分析する！

### Implementation content

1. アンケート調査
2. 外国人へのインタビュー
3. インターネットや本による情報収集

### Result & Conclusion

#### 1. アンケート結果

〈共通点〉

- ・ 同じ文字や綴りでも読み方が異なる
- ・ 言葉遣いで人柄が出る
- ・ 独自の表現がある

〈日本特有〉

- ・ 敬語の種類が豊富
- ・ 擬音語が多い
- ・ 間接的な表現

#### 2. 外国人へのインタビュー

〈日本語をどう感じるか〉

- ・ 複雑（間接的）
- ・ 漢字、カタカナ、ひらがなの使い分けが難しい
- ・ 情緒的で美しい

#### 3. インターネットや本による情報収集

○日本語は特殊：比較言語学

ヨーロッパやインドで話されている言語は共通の祖語が再建  
しかし日本語ははっきりとした祖語が断定できていない  
→孤立言語

○日本語は“膠着語”：言語類型論

膠着語…文法機能を一つ一つの語にくっつけて示す言語  
のグループ 例) 韓国語、トルコ語

#### 4. オノマトペ

“虫の音”をどちらの脳で聞くか



日本語は複雑であるが、それが他国にはない情緒さを生み出して魅力となっている

### Outlook

日本語以外の言語をメインに考えたときに見られる特徴（フランス語やドイツ語の性別を持った名詞など）を人々がどのように使い分けしているか、言語の法則性を見つける。

参考文献：『日本語を「外」から見る 留学生たちと解く日本語の謎』著：佐々木瑞枝(2010)小学館

『英語の感覚・日本語の感覚』著：池上嘉彦(2006)NHK出版

『日本人のちょっと変な英語』著：デイビット・セイン(2012)アスコム

(2018). 『日本語は特殊な言語？「比較言語学」と「言語類型論」』 <https://j1net.com/comparative-linguistics-and-linguistic-typology/> 2021年1月21日閲覧

アンケート、インタビューにご協力いただいた先生方、ありがとうございました。